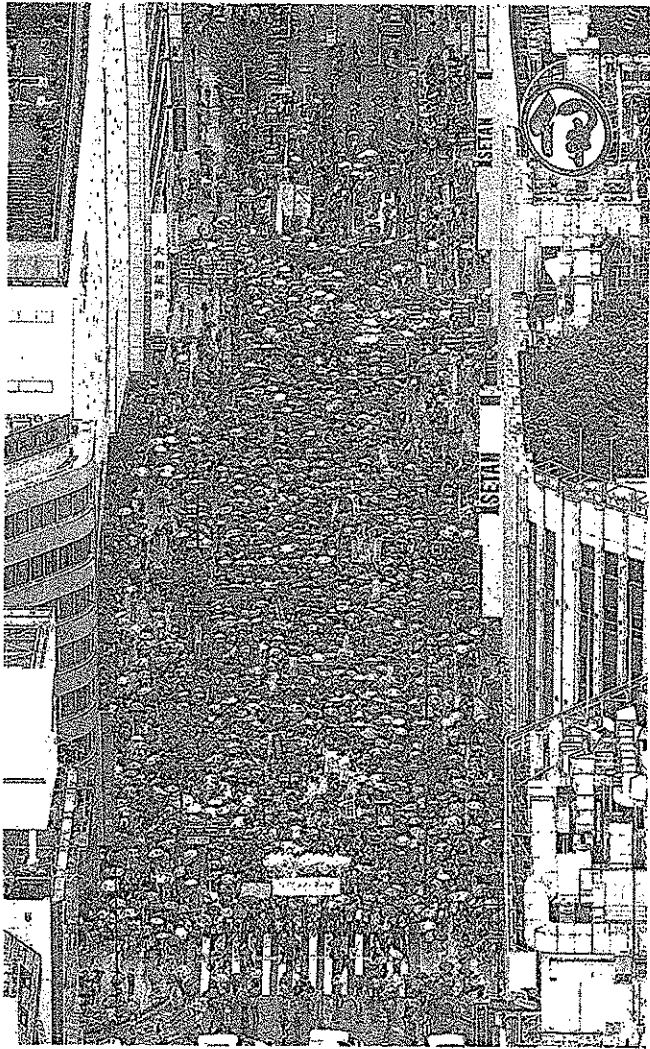


9/7 早稲



東京・新宿で開かれた安保法案に反対する集会。大通りを大勢の人たちが埋め尽くした＝6日午後

「憲法守れ」 新宿で氣勢

シールズや学者の会

大学生らのグループ「SEALDs（シールズ）」と「安全保障関連法案に反対する学者の会」が六日、

共同して東京・新宿で法案反対の集会を開いた。時折強い雨が降る中、歩行者天国となった大通りを埋めるほどの人が集まり、軽快な音楽に合わせて「戦争反対」「憲法守れ」と声を上げた。主催者によると、約一万二千人が参加した。

路上に設けたステージに上がった国際基督教大四年生栗栖由喜さん（こし）は「安倍（晋三）首相は民意を無視し、法案を成立させようとしている。国の安全保障が未熟な議論で決められてはたまらない」と強調した。学者の会の永田和宏京都産業大教授は「安倍さんは決めてしまえば、反対運動は収まるとみている。一人一人が闘いを続けなければならぬ」と力を込めた。この日、集まった人は子ども連れから年配者まで幅広く、スピーチに合わせ、大学名が入ったのぼりを揺らしたり、「アベやめろ」と書いたプラカードを振ったりした。